

きりだし

こがたな

切出小刀

大工道具鍛冶が込めた想い

Kiridashi-Kogatana — Unique Artifacts of
Carpentry Tools Blacksmiths —



2022年3月5日(土) — 5月8日(日)

竹中大工道具館 1Fホール

9:30—16:30 (入館は16:00まで)

休館日：
月曜日(祝日の場合は翌日)

入館料：
一般 700円
大高生 500円
65歳以上の方 500円
中学生以下無料
※ 常設展観覧料を含む

主催：
竹中大工道具館

協力：
朝倉彫塑館、木屋、
銀座菊秀、酒ミュージアム
(白鹿記念酒造博物館)、
佐藤金物店、松濤美術館、
土田刃物店、西宮市

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、
会期や開館時間、イベント情報等が
変更となる可能性があります。
最新情報は竹中大工道具館ウェブサイトにて
ご確認ください。



切出小刀

きりだし

こがたな

大工道具鍛冶が込めた想い

Kiridashi-Kogatana — Unique Artifacts of
Carpentry Tools Blacksmiths —



2



3



4



7



5



6

- 1 千代鶴是秀作
「自尊」1944年
- 2 千代鶴延国作
1971年
- 3 長谷川幸三郎作
「直」1982年
- 4 千代鶴是秀筆はがき
1941年
- 5 千代鶴太郎作
1930年
- 6 宮野鉄之助作
「初音」制作年不明
- 7 石堂秀一作
1918年

木の細かい細工などに使われる小型刃物の一つ

「^{まりだしこがたな}切出小刀」。カッターナイフが普及する以前、

大工仕事や竹細工、木彫をはじめ子供の工作から家庭用に至るまで、さまざまな用途で使われた身近な刃物でした。大工道具鍛冶にとって切出小刀は、^{のみ かな}鑿や鉋のように厳密に決められた定形がないため、自らの自由な発想を盛り込むことのできる唯一の刃物と言えます。今回は千代鶴是秀、石堂秀一、千代鶴太郎、石堂秀作、長谷川幸三郎、宮野鉄之助など、用の美を極めた大工道具鍛冶の名工が手がけた切出小刀を一堂に展示します。匠の技と個性を垣間見ることのできる逸品の数々をぜひご覧ください。

■ ワークショップ「切出小刀を作ろう」

3日間かけて「鍛接」「成形」「焼き入れ・焼き戻し・刃研ぎ」を行います。

日時 | 4月22日(金)・23日(土)・24日(日)

[1] 9:30~12:30 [2] 13:30~16:30

講師 | 藤原保彦(鍛冶・藤原小刀製作所代表)、長池廣行

場所 | 竹中大工道具館 1Fテラス/地下2階木工室

定員 | 各回とも15歳以上の方5名(要申込)

※ 必ず全3回参加できる方

参加費 | 20,000円(全3回分、材料費・入館費込み)

申込締切 | 4月4日(月) 必着



■ ワークショップ申し込み方法

ウェブサイトの場合:

公式サイト内よりお申し込みください。

www.dougukan.jp/special_exhibition/kiridashi

往復はがきの場合:

〔**往信用裏面**〕に①イベント名(ご希望日時も)②参加者氏名(フリガナ)

③郵便番号・住所④電話番号⑤年齢、〔**返信用表面**〕宛先に申込者の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。裏面は未記入のこと。

〔**申込み先**〕651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1 竹中大工道具館イベント係

※ ハガキ1通につき1名様までお申し込みいただけます。

※ 参加可否の詳細は締切日以降10日程度でご連絡いたします。

※ ご記入いただいた情報は厳重に管理し、イベント以外の目的には使用いたしません。



山陽新幹線「新神戸駅」中央改札口より徒歩約3分
市営地下鉄「新神戸駅」北出口2より徒歩約3分
シティ・ループ「12 新神戸駅前(2F)」下車徒歩約3分
神戸市バス2系統・18系統「熊内6丁目」下車徒歩約2分

竹中大工道具館 神戸市中央区熊内町7-5-1
TEL 078-242-0216 <https://dougukan.jp>

TAKEMURA
CARPENTRY
TOOLS
MUSEUM 公認財団法人 竹中大工道具館

